



長谷溪流の滝

水の思い出 ～ 2 ～

私は昭和の初め生まれ、井戸水の生活で育って来ました。(ひねるとジャーの水道の今の時代……水への感謝も少ない今) 昔の井戸水を懐かしく思い出し……ちょっと一言。

一家に1ヶ所井戸があり、井戸掘職人にて水が出るまで掘り下げ、深さによって使用法も違っていました。

- 3 位の浅い井戸は、桶にヒモを結びつけ、片手の反動で桶をちょっと返し、水を汲み上げました。
5 位の深い井戸は、撥ね釣るべといって、支柱の上に横木を渡し、一方に重りをもう一方に桶をつけ、竹の長さ1本を使いテコの応用を利用して両手で汲み上げました。車井戸は底が見えない深い井戸、太さ3 位の麻綱で2つの桶を左右に結び、ガラガラ音をたてながら汲み上げたことを思い出します。

井戸は、夏にはスイカを冷やし、うどんなどをエビラに入れ冷やす今の冷蔵庫でした。

朝夕と使っている大事な水も、年に何回か日照りが続き井戸が枯れてしまうことがあると、天秤棒の左右に大きな桶をさげ、もらい水が大人の仕事です。お風呂は川から汲み、飲水はどんな遠い所でも他の家の水をいただきに、肩も痛み、桶の水もポチャポチャ音をたて少なくなってしまう。本当に1日がかりの重労働でした。二度と体験することはできません。

水の無くなったそんな時、井戸の中に入り、きれいに井戸払いをしていた父の姿を思い出します。

(秋山つや子・73才)

地図で あそぼう!!

1
40,953人

私たちが、住んでいる場所に自分自身を関係づける方法はいくつかありますが、その中でも地図は面白い方法です。

子どものころ、世界の中心は自分自身でした。大きくなるにしたがって、遊びに行く範囲を広げる、テリトリーを広げる過程はそのまま自分自身の世界地図が広がっていくことでした。生きてきた時間、人生という旅の時間軸を私的地図というかたちに作り上げてみませんか。

ウォーキング流行りのこの季節、歩きながらもう一つ欲張って季節の花を見るコース図を作ってみてはいかがでしょう。秋は金木コース、春はお花見コースとして歩けば、楽しみも増していきそうです。

ヤンママたち、子育てに優しい地図を作ってみてはいかがでしょう。ベビーカーで安心して歩ける道、「私」の好きなお店をイラストマップにお友達と作り上げれば、地図と一緒に仲間も作れるかもしれません。

子どもたちには、通学路の地図づくりがおすすめです。誰さんちの前は怖い犬がいるので遠回りとか、前を通ると必ずピアノの音が聞こえる小径とか…。大人になってから見直すと、地図の絵と共に閉じ込められていた幼いころの自分自身に会えるかもしれません。



機初小3年 小室 陽子

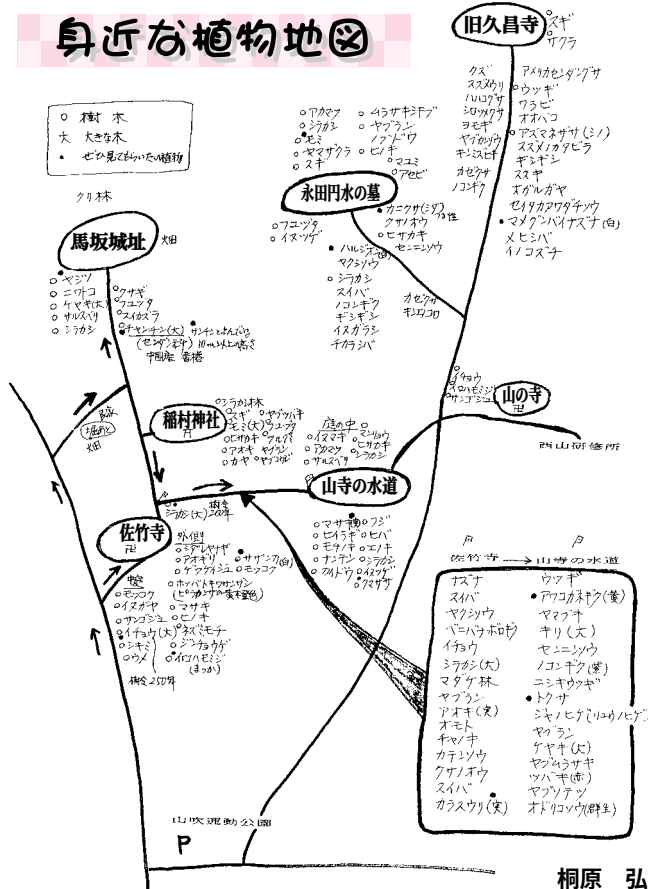
右ページの地図のようにそれを実際作った人を見つけてきました。50年以上も前の町並みを、人はなぜこんなに鮮明に覚えていられるのでしょうか？そのなぞこそが地図に隠された魅力かもしれません。

学校のまわいをしらべよう



誉田小3年 小田金鮎美

身近な植物地図

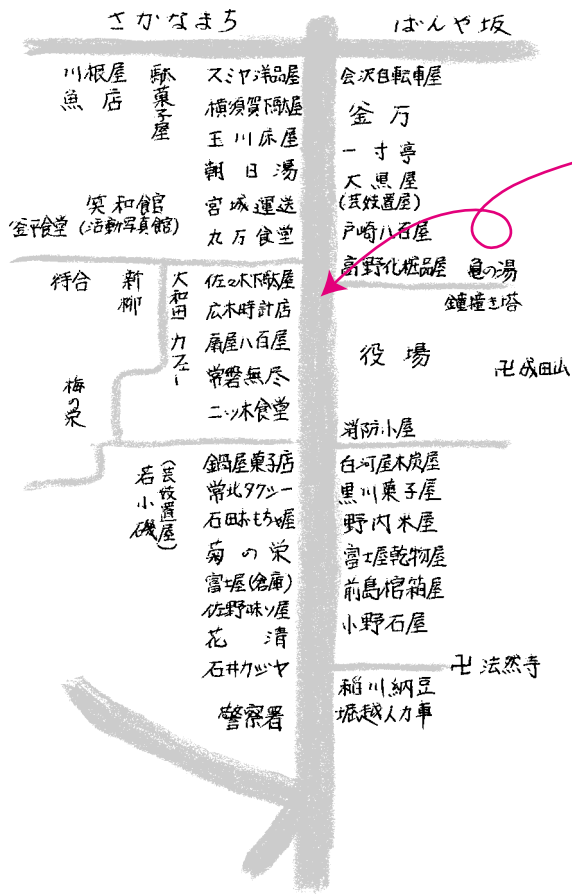


桐原 弘

昭和70年頃の東三町

岩間 實 「思い出—小学校卒業までの」より

一部改変



東三丁目表通り
(左側は町役場、中央は
警察署の火の見櫓、高野
昇氏所蔵)



当時の駅前付近の様子
駅前
落合商店
(駅前に共進会
の飾りつけの
塔が立ってい
る。高野昇氏
所蔵)



常陸太田駅
から眺めた
税務署
(高野昇氏所蔵)

地図の作り方

① 地図の素材をさがす

まず、自分の行動範囲に合った地図の素材を探します。常陸太田市なら、ヨネビシさんの包装紙や若柳さんのランチョンマット(?)がお勧めです。あるいは、市販の地図の中から、コピーしてもいいでしょう。様々な色、手ざわりの用紙が市販されていますのでそれらを利用するとともに私的地図の雰囲気が出ます。



② 何の情報を載せるかを決める

- ・花の地図…桜、金木犀、タンポポ、梅、柿等と限定する。
- ・トイレ…公衆トイレに限らずちょっと困った時にすぐ利用できるポイント情報は重宝。
- ・知人マップ…地図作成者の生活そのものが現れます。
- ・癒…景色のいい所、風に吹かれてのんびりできる場所。



③ 情報を書きこむ

情報毎に別の地図に仕上げるか(単目的地図)、一つの地図に何点かの情報を載せるか(多目的)どちらかを選びます。
単目的…ポイントを地図上に印をつけていきます。桜の地図なら、開花した日などを書きこむのもいいかもしれません。
多目的…情報を色別・記号別にして地図上に印をつけていきます。いい景色の記号はメガネの形にするとか、考えるのも楽しくなります。

シクラメンづくりの先駆者

経済の進展と自然の進化

内田町 大内 幸雄さん

今回は、内田町の農業経営者大内幸雄さんをおうかがいたしました。大内さんは、ご自身で育種改良したシクラメンを栽培し、その品質において東京市場でトップクラスの評価を得ている方です。経済社会の中で私たちが生活していくためには、自然を犠牲にしても仕方がないという考えがあります。しかしお話をうかがって犠牲



にしているのは自然ではなく結局自分自身ではないかという思いが強く浮かびました。

「誰でも生きたいと思う。動物も植物も生命あるものは、激しく生き続けています。太陽の光を受けて生き延びようとしています。自然界で生産される食料を食べて私たちは長い間生き続けてきました。でも食料は他の生命体と共有しているのです。私たちは化学薬品を使いほかの生物から優位に立つことができました。同じ生命体である青虫の食べられないキャベツを、野菜を、米を、穀物を食することができるようになりました。

みんながどこかで不自然だと思っていることでしょう。そう思っても経済が最優先する社会ではそんなことはどうでも良くなってしまったのです。米に変わってお金が必要な時代だからです。そのために世界のあらゆる業界は、数字を追い求めて生き延びようとしています。



人間は限りなく欲を満たそうとしています。しかしほかの動物も植物もあらゆる手段を持って子孫を拡大しようとしているのです。この戦いは、人間以上かも知れませんが。脳を使うものと、自然の中で変化し生きようとするものの差はあります。しかし人間の脳の進歩以上に虫や細菌は身に抵抗性をつけ私たちの化学を越え始めていることも事実なのです。

誰も生きたいと思う。虫も細菌も植物も生き続けてる。共に生き続けるにはどうすればいいのでしょうか。それは人間が少々の遠慮を示すことから始まるのかもしれませんが。みんな儲けたいと思います。しかしそこには少々の遠慮という美しい言葉が現在に通用するかどうかであります。」

(K・E 24才)

市PTA連合会

母親委員会

みなさん、母親委員会ってご存知ですか？常陸太田市PTA連合会の活動の一環としての委員会で、各学校間の情報交換も含め、女性の感性を生かした児童生徒の健全な育成を図ることを目的として市内小学校の各PTAから1名の母親が代表で集まり14名で組織している委員会です。

子どもを取り巻く状況は世論を騒がせている諸問題の増加に象徴



されるように様々です。私たち母親委員会は、親が子どもにどう接したらいいのか、どう愛情を注いだらいいのかなど、子どもと正面から向き合っていかなければ子どもの姿は見えてこないということを根本に活動しています。

最近では、不登校をテーマにした映画「あかね色の空をみたよ」の試写会を100名余の参加で行ない、各学校での取り組みに向けてのきっかけづくりをさせていただきました。PTAがその性格・役割に基づいて、地域社会に根ざした活動を着実に発展させていくためにも、実際に実践活動に参加している母親委員がPTAづくりの推進役となっていくつもりです。

(嶋津 敬子)



学び舎から
誉田小

親子レクリエーション



大門小学校と誉田小学校の統合を機に始められた『親子体育のつどい』は誉田小学校ならではの地域の運動会として20年間大事に続けられてきました。我が

子以外の子どもたちと「地域の父親・母親」として楽しく関わっていくことで地域の教育力をつけようという趣旨は生かしたまま、昨年度リニューアルして「親子レクリエーション」として生まれ変わりました。

去年は「大声コンテスト・〇×クイズ・5人6脚」などの種目を行い、普段とは違ったおもしろ競技に歓声がわきあがっていました。

児童・保護者・先生の混合チームを作り、チーム名もそれぞれが工夫して命名します。校長先生のいるチームの名前は「ぜっコーチャョー」。今年は11月4日開催で、昨年とは種目も変わりなお一層楽しい1日となりそうです。地域の皆さんもぜひ足を運んで、夢中で遊ぶ大人と子どもをご覧になりませんか。（塩原 吉博）



私の宝物・すてられない物



手づくり歌集「だっぺの会歌集 舞鶴」

「私の宝物」、それは、そうです写真で紹介している古ぼけた手づくりの歌集なのです。数えれば今から30数年もまえの学生の時代……恋することに恋をし、友と酒を酌み交わし、そしてうたい語らい青春真ただ中だった頃の代物、というよりも『遺物』なのです。

当時、学生の間で人気のあったイベントといえばダンスパーティーかバスハイクときまっていました。今風で表現すれば『ゴーコン』とでも言うのでしょうか。

特に、観光バスを5～7台と連ねて行う日帰りツアーでは、主催者であり添乗員でもある我々にとってはこの『手づくり歌集』が人と人との出会い、ふれあい、つながりを得る最大の武器でもあり最高の宝物だったのです。もちろん、今もそれに変わりはありません。（T・T）

子育て奮闘記

踊るママパラダイス③

よく下の子はかわいいという話を聞きますが、私はそれはないです。ただ、長女のすみれの時と、末のゆきのの時では吐り方がちがいます。すみれの時は何もかも目くらまされて怒りまくっていましたが、ゆきのが同じ事をしてもちよつと考えて諭したしなめるという感じです。しかもなぜかそのパターンは現在進行形で、すみれにしてみればたまらないでしょう。こちらにしてみれば、すみれのすることは私にも初めてで、言わば初心者ですが、2人目のコースケを経てゆきのに至って私の経験値は上がり、少し高い所から眺められるのです。だからすみれは面白くない。当然です。彼氏が「お姉さんなんてつまらない。」と言った時、私はドキッとします。

「私はすみれを頼りにしているんだと思う。」2人きりになった時、そうすみれに言うと彼はニッコリして「知ってるよ。」と言いました。彼は、私より大人なのかかもしれません。そして明らかに私は、すみれに甘えているのです。

3人姉弟の2番目だった私は、いつも「お姉ちゃんはいい。」「弟はずるい。」と思っていました。親にもそう言っていました。最近、姉から「あんたは気楽そうでうらやましかった。」と言われて、上の子も大変なのね、と思ったものです。

P.N. 織田裕子 常陸太田子どもの劇場

妹の成長に姉は苦悩している。



すみれ 8才、ゆきの 3才、ママ...?才

やってみよう

フオンズ 子どもの詩・童謡 を募集します。

すべてが生きているこの地球にあって、子どもから大人まで、すなおな喜び・悲しみ・驚き・発見は人間の天性です。

お子さんがつぶやいたことを親が書きとめたものや、小中学生・高校生の心のつぶやき・なやみなど、自由にことばで表現してみませんか。

第1回募集期間

11月1日(水)～11月24日(金)

応募先・問合せ先

〒313-0061 常陸太田市巾着町3280番地
TEL 0294(72)8888 FAX0294(72)8880
Email:otalls1@po.net-ibaraki.ne.jp

生涯学習センター内フオンズ・ネットワーク 子どもの詩係
作品は600字以内(ワープロ等可)。末尾に①住所

②氏名(匿名可)③連絡先を明記してください。

選評:フオンズ・ネットワーク・みつぎ しげる

LOVE♥おおたフェスタ2000

と き:11月3日(金) 文化の日

9:00～15:00

ところ:生涯学習センター 主催:商工会青年部
イベント

- ・市民バスに乗ろうよ
- ・守ろうよ「太田の野生動物」
- ・みんなで選ぼう太田の素敵な風景
- ・遊んで覚えよう!!「太田かるた」
- ・「フリーマーケット」
- ・「今年もやります パン教室Part 3」
- ・好評につき「ストーンペイント教室」
- …etc

*イベントについては
変更の場合有り

お問い合わせ

常陸太田市商工会
TEL 0294(72)5533



一言:秋の一日、のんびりと過ごしてください。
きっとふるさとの良さがわかるはずです。

(上岡フェスタ企画委員長) (S・O)

第1回常陸太田市

市民グランドゴルフ大会

お一人で・グループで・親子で楽しく遊んでみませんか。

と き:11月26日(日) 9:00～12:00

ところ:白羽スポーツ広場

参加料:一人200円(保険料・商品等)

対象:小学4年生以上の
市民及び市内勤務者

用具:お持ちでない方には
用意してあります。

申込先・問合せ先

:スポーツ振興課スポーツ振興係
TEL/FAX0294(73)1230

締め切り:11月17日

主催:常陸太田市体育指導員協議会



環境にやさしいガーデニング

「クリスマスに向けての寄せ植えリース」 の講習会を開催します。

花の街づくりボランティアサークル「チェルシー^{アミ}」では、リースと秋の花を使って、クリスマスに向けての寄せ植え講習会の参加者を募集します。

今回は、環境にやさしいガーデニングをテーマに、再生紙を利用したファーマーズポットを利用して、クリスマス用の寄せ植えを作ります。

一緒にミレニアムクリスマスを楽しんでみませんか。

記

・と き 11月19日(日) 10:00～11:30

・と ころ 生涯学習センター 創作室)

・募集人数 50名

・材料費
2800円(当日徴収)

・申し込み方法
11月9日(木)
午前10時から受付開始
電話でお申し込みください。
(定員になりしだい
締切らせていただきます)

・申し込み問い合わせ先
西二町 2177
チェルシー事務局
立川政子
0294(72)0158



天使の歌声、

ミュージックベルサークル

に参加しませんか。

練習日 隔週水曜日(11月は第1・3)
19:30～21:00(原則として)

場 所 生涯学習センター講座室

機材代等 月1000円

参加申込・TEL 0294(72)6539

問合せ先 又は 090(1545)8699

主 催 常陸太田子どもの劇場

郷土伝統工芸教室

郷土に伝わる民芸品などを作ってみませんか

* しめ飾りづくり *

と き：Aコース 12月21日 9:00～15:00
Bコース 12月24日 9:00～15:00

と ころ：梅津会館

募集人数：A・Bコースとも各30名（先着順）

参加費：1人500円（材料代含む）

* 草ぼうきづくり *

と き：Aコース 1月10日 9:00～14:00
Bコース 1月14日 9:00～14:00

と ころ：ハウキグサ採取の現地

募集人数：20名（先着順）

参加費：1人500円（材料代含む）

* エビラづくり *

と き：11月22日・11月29日 の2日間
9:00～15:00

と ころ：梅津会館

募集人数：15名（先着順）

参加費：1人1,000円（材料代含む）

その他：平成13年1月下旬～2月上旬に第2回のエビラづくりを予定しております。



パソコン年賀状作成講座

パソコンでオリジナル年賀状を
作成してみよう！
文面作成、画像入力、宛名印刷まで1日OK

と き：Aコース 11月26日 9:00～16:00
Bコース 12月3日 9:00～16:00
Cコース 12月10日 9:00～16:00

と ころ：生涯学習センター

対 象：小学生以上で、パソコンのマウスが使える、
文字入力ができる方

募集人数：各コース8名

受講料：2,500円

その他：募集人数をこえた場合は、抽選を行います

【参加申込方法（郷土伝統工芸教室・パソコン年賀状作成講座共通）】

＜申込期間＞ 11月10日（金）～11月16日（木）必着

＜申込方法＞ 郵便はがきに①氏名②年齢③住所

④電話番号⑤教室名（A・Bコースの別も記入し、下記までお申込ください。）

＜応募先・お問合せ先＞

〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地

生涯学習センター TEL 0294 (72) 8888

映画を
観にこう

ウィークエンドシネマランド

350インチ大画面ハイビジョン
映画館にみんな集まれ

と ころ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料（入場券が必要です）

11/18
(土) 14:00～ 犬丸りん・NHK・NEP21

観覧申込受付

10/28
(土) より

「おじゃる丸」「忍たま乱太郎」

11/25
(土) 14:00～

観覧申込受付

10/28
(土) より

鬼平犯科帳スペシャル
「雲竜剣」

12/23
(土) 14:00～

観覧申込受付

11/25
(土) より

「銀河鉄道の夜」

○観覧ご希望の方は、生涯学習センターへ直接来館してお申し込み下さい。先着順で入場券をお渡しいたします。

【お問い合わせ・申し込み】 常陸太田市生涯学習センター TEL 0294 (72) 8888（月曜日休館）

リレー
エッセイ

「思い出の絵本」 ～ 3 ～

(増井町 黒羽 富子さん)

「今日は、私の番だよ。この本読んでね。」

もうはるかに遠い日々のこと。3人の子どもたちと枕を並べ、毎晩読んで聴かせた絵本の数々。一緒に笑い、一緒に泣いたことが懐かしく思い出されます。その中でも忘れられない絵本は「ダンプえんちょう やっつけた」です。出てくる保育園児一人一人が個性豊かで、聴いている子どもたちは、自分に重ね合わせる事ができたのでしょう。山にのぼったり、石段を滑りおりたり、かいぞくごっこをしたり…。ふとんに入りながらも、気分は絶好調です。

「ああ、おもしろかった。おやすみ。」

と言って電気を消す。その後の余韻を味わいながら眠りにつく。

今にして思えば、子どもたちがまだ親の手の中にあり、共通の体験を素直に楽しめた幸せな日々でした。そして、私の人生においても貴重なときだったことは、言うまでもありません。

(次回は上岡千賀子さん)



ほつ
とひといき

アケボノソウ

(リンドウ科)



長谷溪流のせせらぎを聞きながら、自然散策をしていると可憐な花に出会い心が癒されます。

センプリに似たアケボノソウは、中でも一段と気品が感じられます。明るい湿った溪流や水気の多い場所を好みます。合弁花で深く5裂した白い花びらには一対の黄緑色の斑点と多数の小黒点が見事にちりばめてあります。その様子を明け方の空に残る星に見たて、曙草の名がつけられたのです。

(写真 佐々木泰弘, 文 桐原 弘)



ちよっとひといき

メンチカツとから揚げ

チキンデリカはたや

TEL 0294 (72) 7617

中学から高校にかけて、部活がおわった夕暮れの帰り道、学校からは禁止通達の出ている『買い食い』の思い出は、多分多くの方に共通の懐かしさを呼びおこすのではないのでしょうか。

コンビニ全盛の今もその懐かしさを味わえる店、それがチキンデリカはたやです。手づくりメンチをおこづかいと相談しながら1個買って、その場でソースをかけてぱくつきながら帰る高校生の背中に、「ごみ捨てんじゃないよ!」と声を掛ける御主人と奥さんの暖かさが、今失われつつある、地域の教育力そのものかもしれません。商店の基本はお金とものの交換です。はたやさんの「売り物」は、ものだけではなく「ふれあい」というおまけがついているのです。そういう揚げたてメンチとから揚げのファンは多いと、私はにらんでいるのです。

(塩原 慶子)

孝行娘と弘法泉

「常陸太田そのむかし」より「其の一」
〜 機初地区に伝わるお話し 〜

むかし、ある夏の暑い日のこと、ひとりの旅の坊さまが、のどがかわき近くの農家に水を求めました。この年は、ひどい日照りが続き水不足でこの農家でも坊さまに水を分けてはくれませんでした。

そして、たどり着いたのが、千代の家でした。千代は、病気の母親を世話しながら細々と暮らしていました。

「旅の者じゃが、水を一杯ご馳走してくれまいか。」坊さまが声をかけました。

「お困りでしょうが、母に飲ませるだけの水しかなくて、さしあげることができません。」と、千代は頭を下げました。

坊さまは、「母親を大事に。」と、弱々しく立ち去ろうとしました。

千代は、その姿を気の毒に思い、茶碗の水を坊さまにさしだしました。坊さまは、大変喜びおいしそうに飲み干しました。

「何かお礼をしましょう。」と、坊さまは、持っていたついで庭の隅をトントンとつく、不思議なこととに水がこんこんとわき出てきました。

それからというもの、どんな日照りがあっても、千代の家の泉はかわれることはありませんでした。

村人たちは、この坊さまはきつと弘法大師様だろうと話し、この泉を弘法泉と呼ぶようになりまし。

今も、幡町に水をたたえて、ひっそりと残っています。

